

2000年1月、私が36歳のときです。

はじめは、なけなしの1000万円からのスタートでした。「知識がなく、経験もない人間をプロのネットワークエンジニアにする」という私の発想は、業界では「不可能だ」と言われていました。2000年当時、ITサービス業界は不況で、就職難であり、「最低3年以上の経験がないと仕事がない」とも言われていました。

当初、私も経験者採用の面接に立ち会いましたが、IT経験のある応募者の大半が（あまり来てはもらえませんでした）、ある者は履歴書を持ってこない、ある者はカジュアルな服装で来る、ある者はきちんとした言葉遣いができない……など惨憺たるものでした。

正直なところ、彼らに対しては「技術はあっても、社会人としては未熟だ」と感じました。それに比べて、ITの知識や経験はないけれど礼儀や態度に関しては申し分ない、という若者たちも大勢面接にやってきました。私は、「こういう若者に技術を身につけさせて、何とか仕事を与えたい」という思いを強くしました。

でも、そこからが大変でした。人を集めるのは簡単ですが、彼らに技術者としての資格を取得させるのにかかる研修費用が、当時1人あたり50万円かかりました。

当初、まずは100名にこの資格を取得させ、その上で、プロのネットワークエンジニアとして働いてもらうという計画を立てていましたが、資本金は1000万円しかありません。1人50万円かかる研修を100名に受けさせると、5000万円の費用がかかってしまい、当然、資金は足りません。ましてや、創業したばかりで何の実績もなく、ビジネスモデルもまだ認知されていない会社に対して、融資をしてくれる銀行があるはずありません。

・・・

そんなある日、ついにひらめきが起こったのです（私のひらめきは、いつも歩いているときに起こります）。それは、自分でも予期しないすばらしいアイデアでした。私は、すぐに「ミニ手帳」に書き込み、「これだっ！ これできける」と確信しました。

それは、「スクールの講座を無料で受けさせてもらい、資格を取得したのちに、客先から得た1年分の収益の半分を返金する」というものです。

私は早速、ネットワークエンジニアの資格試験合格のための講座を開いているスクールを回りました。そして、「知識も経験もない若者たちをプロの技術者に育てたいので、講座を無料で受けさせていただけませんか？」とお願いしました。

そんな突然の無理難題に、相手は当然あきれられるばかりでした（そのときの詳細な記憶はありません。それだけ懸命だったと思います）。でも、私は必死でした。恥ずかしいなどはこれっぽっちも思いませんでした。当時は、自分が考えたことは何でもできると思っていましたから。

スクールを探し、訪ね、同じお願いをし、同じような対応をされ……といったことを繰り返しているうちに、やっと話を最後まで聞いてくれるスクールに出会いました。私は必死に説明しました。

「知識も経験もない若者に知識をつけさせてあげたい。そのために、彼らに無料で講座を受けさせていただけませんか？彼らはみな懸命に努力をして、資格を取得するでしょう。その後に弊社で仕事をさせて、その収益の半분을1年間お返しします。私の見込みでは1人あたり120万円くらいは戻せると思います」

するとスクールの担当者は次のように言いました。

「気持ちはわかりますが、全員が資格を取るのは無理ですよ。仮に取れたとして、その後、彼らが御社で働き続ける保証はありますか？」

別のスクールでは、さらにこんなことも言われました。

「資格だけ取得しても、現実的に仕事はありませんよ」

私はこれだけのことを言われながらも、あきらめることなくスクールを回り続けました。そして、ついにそのときがきました。

同じ説明をし、最後までその担当者は話を聞いてくれました。しかし、説明し終えてもしばらく相手の反応が何もなかったため、私は再度、彼の顔をじっと見つめました。すると、彼は真剣なまなざしで力強く「一緒にこのプロジェクトを成功させまし

よう」と言ってくれたのです。理解してくれる人にやっと出会えた！ 私は天にも昇る思いでした。

私はさっそく、やる気のある 100 名のメンバー一人ひとりにこの事業の意義を語り、「君たちの頑張りが将来、同じような境遇の人たちの環境作りの見本になるんだ」と伝えました。

いま思うと、その後のことは奇跡に近かったかもしれませんが、**ほぼ全員が資格を取得し、誰一人として辞めませんでした。**そして奇跡的に顧客も見つかったのです。

初年度の利益の半分をそのスクールに返し、翌年にはその利益が研修費用として使われることになりました。

RAC Right Action Circulation 正のアクションの循環

-----Web-----

渡邊 幸義（わたなべ ゆきよし、1963 年 7 月 9 日 - ）は、静岡県沼津市出身の実業家。2000 年 1 月、株式会社アイエスエフネットを創業。

-----